

特集／快適な生活環境整備への第一歩「合併処理浄化槽」
町政スポット／どうなってるの？競輪場外車券場『サテライト朝日』
7.10.7.17豪雨災害 新ALiTにシェニファー先生 ほか
カメラさんぽ／ダチョウの卵芸術と夜通しナイトウォーク
まちの話題／第22回朝日川渓流まつり 長沼区つり大会
不法投棄防止ネット設置 早稲田大学留学生来町 ほか

暑さに負けず元気いっぱい育ってネ！
西五百川小5年生による花苗植栽ボランティア
(7月22日：旧西部公民館跡地)



広報 あさひまち

2004年8月
No. 573



この豊かな水量は朝日川をはじめとする支流の清流があってこそ確保できるもの 美しい自然環境を守っていく責任が私たちにはある
最上川でカヌーを楽しむ人たち 栗木沢のカヌーランドには休日に限らず平日でも県外ナンバーの車が多く集まる(8月1日)

申込

設置奨励期限(平成16年11月末日)間近!

地球にやさしい町づくりと 快適な生活環境(水洗化)のすすめ

かけがえのない自然環境に
重大な影響を与える汚水。そ
の殆どが私たちの日常生活か
ら排出される家庭雑排水であ
ることは、今となつては誰も
が認める事実です。

この事実を踏まえ、平成二
年度から合併処理浄化槽によ
る生活排水の処理を進めてい
る朝日町。きれいな水への取
り組みを始めて今年で十五年
目の大きな節目を迎えました。
これまで、国県補助金に加え
町独自の奨励金を上乗せする
ことで、合併処理浄化槽の設
置を進めてきました。この奨
励制度が今年度をもつて終了
します。

今回の特集では、合併処理
浄化槽設置に向けたこれまで
の町の取り組みと設置状況を
振り返り、最後の追い込み、
奨励期限内の設置申し込みの
推進を図ります。

合併処理浄化槽事業一本による水洗化の推進

「これまでの経緯と町の取り組み

「消費は美德」と称された一九七〇年代の高度経済成長期。この時期は、個人所得も倍増し、より豊かで文化的な生活を求める人々が溢れていた時代です。

しかし、この活気ある経済成長の裏側で進行していたのは、大気汚染や水質汚濁など、わたくしたちに身近な生活環境がむしばまれる状況でした。

**このたび合併処理浄化槽を設置した
布施真奈美さん(助ノ巣)ご家族の声**



これまで簡易水洗のトイレを使用していましたが、家族の増加で汲み取りの回数が増えました。

本家でも昨年、合併処理浄化槽を設置。それなら我が家でもと、あいのちゃん

とあばあちゃんから相談を受け、家族みんなで話し合いました。

工事敷地の課題もありましたが、親戚の協力もあってなんとか奨励期間内に整備することができて本当にうれしく思っています。清潔感があり気持ちが良く、安心できる空間ができたという感じかな。みんなはどう思う？。

亜理紗さん(9)「使い心地が良くなって、本当にうれしい」

巧くん(6)「始めて新しいトイレを使ってみて、水が流れるのがうれしかった。ちょっといっぱい水を使っちゃったかな。ごめんなさい」

有利な助成制度や融資制度などを設けるなど、町では「合併処理浄化槽整備強化推進五カ年計画」を策定し、普及率のアップを図つてきました。各年度の設置目標と設置実績の推移については（図1）のとおりです。

有利な助成や融資制度を活用し設置基数が増加

設置目標と設置実績の推移

町ではその理由を、高額な改
造資金にあると捉えました。淨
化槽の設置工事費以外にも、ト
イレの改造の他、台所などの水
周りもついでに改造してしまお
うという家庭が多いようです。
その他には排水先の問題、設
置する敷地の問題、世帯内に

しかし、実状は厳しく五百九十九基の設置に止まり、普及率も町全体で約28%と低い結果になりました。

ました（計画では平成二年から平成十一年までの十年間で一千基の合併処理浄化槽が設置されることになりました）。

排水問題の対策について互いに協議しました。総事業費や維持管理費、工期等を検討した結果公共下水道や農業集落排水ではなく、合併処理浄化槽一本で水洗化を進めていくことに決定しました。

その後、補助制度も変化したことを受け、公共下水道と農業集落排水、合併処理浄化槽の三事業による水洗化が再検討さ
れました。

後継者がいないことなどが挙げられます。

期間である五年間で六百五十基、その後も毎年七十基を設置目標として掲げ、平成二十一年度までの十年間で千基の設置をめざしています。計画どおりに設置が進めば、平成二十一年度末の合併処理浄化槽普及率は76%、全体の四分の三の家庭に合併処

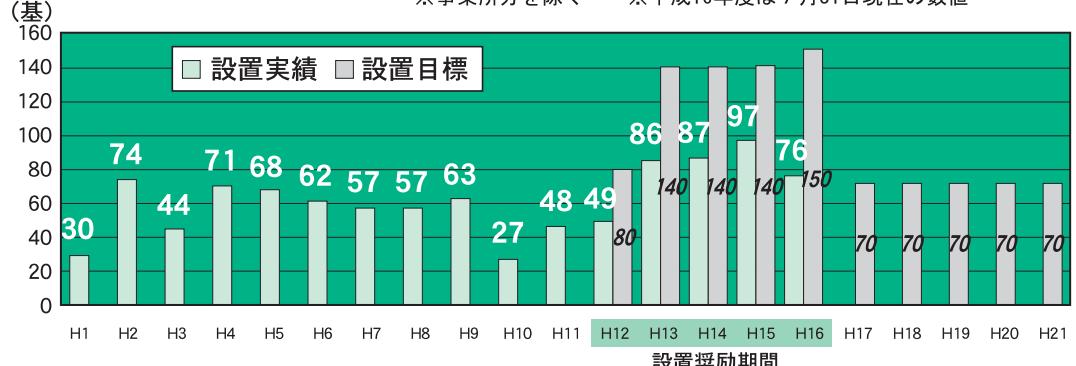
までには六、七年かかること。これら、巨額の事業費と工期及び維持管理費を考慮した結果、それぞれの事業の同時並行は困難と判断。農業集落排水整備区域（大谷一～大谷六）を除く町全域を合併処理浄化槽で整備していくことが確認されました。

用開始までには六〇十五年かかる」と。②農業集落排水も一地区(約八百人)で、総事業費は約十二億円と試算され、供用開始

しかし、①下水道区域となり
うる地域(約三千人)で、総事業
費は約六十億円と試算され、供
用開始は二〇二〇年、運

(図 1) 合併処理浄化槽の設置目標と設置実績の推移

※事業所分を除く　※平成16年度は7月31日現在の数値



理浄化槽が設置されることにな
る計算です。設置奨励期間の最
終年度となる平成十六年度の設
置目標は百五十基。最終的な追
い込みを図りたい目的もあり、
この五年間では最も設置目標が

高く設定されています。

高く設定されています。
設置実績を見てみると、思つたように普及が図られない実状が伺えますが、設置奨励期間に入つてからの設置実績は、それ以前と比較し大きく増えていることがわかります。有利な助成制度や融資制度を活用し、整備していくだいたい結果です。

排水先がないところへは排水路を整備。放流先が遠い場合はメートルを超える部分の放流水管の原材料費を支給するなど、設置者の負担軽減を図ったことなどが理由と考えられます。

また、設備店による設置者相談の応対の協力や、合併処理浄化槽のコンパクト化（容量や面

設置目標を超えた場合は補正予算で対応

積を約30%程度小さくしたことによる敷地問題の改善なども理

由の一つと考えられます

H16.4.1 現在 建設課

地区名	戸数(戸)	設置実績(基)	普及率(%)	地区名	戸数(戸)	設置実績(基)	普及率(%)
本町	76	35	46.1	常盤	101	62	61.4
西町	95	30	31.6	夏草	55	27	49.1
栄町	57	29	50.9	長沼	19	1	5.3
助ノ巻	57	24	42.1	西船渡	45	20	44.4
大町	113	63	55.8	八ツ沼	47	12	25.5
元町	63	34	54.0	能中	40	23	57.5
西原	25	8	32.0	高田	17	8	47.1
前田沢	65	33	50.8	太郎一	54	14	25.9
新宿	50	22	44.0	太郎二	39	20	51.3
四ノ沢	63	24	38.1	太郎三	25	15	60.0
小原宿	43	19	44.2	石須部	12	0	0.0
宿	36	14	38.9	立木	40	5	12.5
沼向	56	38	67.9	白倉	14	2	14.3
平	16	3	18.8	松程	105	54	51.4
大隅	30	9	30.0	大船木	25	2	8.0
古檜	28	7	25.0	今平	15	4	26.7
送橋	38	11	28.9	西部小計	653	269	41.2
下芦沢	29	1	3.4	大谷二	1	0	0.0
水本	25	5	20.0	大谷七	13	11	84.6
杉山	31	6	19.4	中沢	38	23	60.5
松原	35	16	45.7	真中	41	23	56.1
宇津野	43	13	30.2	舟渡	30	18	60.0
大滝	26	8	30.8	栗木沢	78	39	50.0
雪谷	14	4	28.6	川通	18	9	50.0
緑町	30	30	100.0	大暮山	37	19	51.4
中部小計	1,144	486	42.5	大沼	35	12	34.3
北部小計	291	154	52.9	合計	2,088	909	43.5

戸数は住民基本台帳を参考。西町集合処理、清水ハイツ、サンコーボラス宮宿、緑ハイツ、ふれあい荘、大谷1~6区を除く。大谷二是農業集落排水区域外。

設置基数は事業所分を除いた数。

限が切れる今年度も、その内の半分が経過してしまいました。

紙（二〇〇四年一月号の町政ス

ポット）でも紹介してきました
奨励期限後も補助制度（五人
槽で五十八万円・七人槽で七十七
一万円・十人槽で九十八万円の
定額補助。それに、単独処理浄化槽を
化槽を廢止し合併処理浄化槽を
設置する場合は五万円・放流ホ
ンプ槽を設置する場合は、基準
額の五分の四（二十六万円）を
限度とする額が加算。但し、今
後の社会情勢の変化に伴い、「
の補助金額については変わる場
合あり」は継続されますが、獎
励期限内の申し込みでなければ
奨励制度（五人槽・十人槽で五
万円・十一人槽以上で十万円、
単独処理浄化槽改良促進奨励金とし
て五万円、年度内に六十五歳以
上になる方のみ居住する高齢者
世帯への整備促進奨励金として
五万円（所得制限あり）が支給）

7人槽を例にした設置者負担の比較(標準)

設置工事費標準参考見積価格(本体+本体工事費、消費税含み) 1,060,500円		
①設置補助金 710,000円(定額)	②設置整備奨励金 50,000円(定額)	③設置者負担額 300,500円
①設置補助金 710,000円(定額)	③設置者負担額 350,500円	

● 設置奨励期間内に設置

● 設置獎勵期間後に設置

は受けられなくなります。

また、注意が必要なのは、申しこみ期限は今年の十一月末日でも、年度内（平成十七年三月末日）までに工事を完了させなければならぬといふところです。

その他に、融資制度（借入利息の3%までを町が負担）。融資限度額は、一世帯百万円以内で返済期間は五年以内）についても、奨励期限後については受け

ることができなくなります。単独処理浄化槽から七人槽の合併処理浄化槽に切り替えた場合、奨励期限内とそれ以後では奨励金額として十万円もの差が

生じるということになります。これらのことと総合して考えてみると、二二～三年以内に合併処理浄化槽を設置する、あるいは切り替えることを考えているご家庭においては、事業を前倒ししても進めることをお勧めします。有利な制度を十分に活用していくことで、後々の負担を軽減していくことも考慮する必要があります。

今年度の設置申し込み数は、七月末日現在で七十六基となっています。単年度の設置目標に対する達成率は約50%強ですから、奨励期間最後となる今年度としては、若干ベースが遅い感じがします。少なくとも、昨年度の設置実績九十七基はクリアさせたい考えです。

町としては、設置目標を超えた場合でも、補正予算で対応し申請を受け付ける考えです。何はどうあれ、考へているだけでは事は進みません。少しでも設置工事を考へているご家庭があれば、あるいは悩んでいるご家庭などがあれば、悩みを解消させるだけでも結構なので、何なりとお問い合わせください。

特集○快適な生活環境整備への第一歩

奨励期限間近! 合併処理浄化槽設置のすすめ

問い合わせ先
役場建設課都市計画係
(☎ 671-2115)



浄化槽タウンミーティング山形

環境省主催による「浄化槽タウンミーティング山形」が7月13日、創遊館で開催されました。全国13カ所で開催されるもので、朝日町は東北で唯一の開催地となりました。県内外の自治体や住民、浄化槽関係団体や業者ら約400人が参加しました。

「生活排水対策としての浄化槽の普及促進」をテーマに掲げ、財団法人日本環境整備教育センター理事の大森英昭氏による基調講演のほか、清野町長も参加したパネルディスカッションでは、数多くの意見が交わされました。

各パネリスト及びコーディネーターの意見の要旨は、次のとおりです。



●清野 隆(朝日町長)

・これまでエコミュージアムと浄化槽による清流の里づくりをめざしてきた。

- ・財政面からも、合併処理浄化槽1本で整備を進める。
- ・高齢者世帯が多くなり、合併処理浄化槽の設置向上へなかなかつながらない。
- ・放流関係における隣人との譲り合いが必要。

●遠藤信幸(山形県環境整備事業協同組合副理事長)
・合併処理浄化槽の法定検査について、検査後の結果について、もっと設置者に対して説明する時間を設けるべきである。
・法定検査は維持管理業者がすることと同じことをしていると考えている住民が多い。

●草刈洋子(山形県環境整備科学研究所センター研究主幹)
・最上川が汚い。
・最上川上流地域での生活排水対策はあまり進んでいない。

●鎌田光明(環境省廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課浄化槽推進室長)
・合併処理浄化槽の法定検査を受けるか受けないかの罰則はないが、法定検査を受けて何らかの改善命令が出て従わなかつた場合なども合わせて、県が立ち入り検査をすることがある。
・合併処理浄化槽設置の国庫補助金の確保に努めたい。

●大森英昭(財団法人日本環境整備教育センター理事)
・合併処理浄化槽は、財政、地域形状を考慮すると効率がよい。
・維持管理が適正に行われない浄化槽もあるので、保守点検と清掃の実施率100%実現をめざしたい。

町政スポット

どうなつてるの？

競輪場外車券場「サテライト朝日」



畠から開発行為の許可が下りその権利が与えられた中沢の建設予定地へ向かう。工事の着工を待つばかりとなった

開発行為許可標識	
開発許可年月日及び番号	平成16年6月3日 第932号
開発許可を受けた者の住所、氏名又は商号	東京都千代田区平河町一丁目8番9号 株式会社サテライト日本 代表取締役 平野 彰
設計者住所、氏名	山形市南二番町14-40 株式会社三光測量設計社 保吉 和男
工事施工者住所、氏名又は商号	東京都港区虎ノ門一丁目20番10号 西松建設株式会社
現場管理者住所、氏名	山形市南二番町14-40 株式会社三光測量設計社 保吉 和男
工事期間	平成16年7月5日から16年11月30日まで

これまで設置予定業者と協議を進めてきました。景気低迷が長期化するなかで当該施設の設置は企業誘致の一環として捉えることができ、設置予定業者に早期の設置要望を行ってきました。

県内では始めての施設でもり、県知事の許認可が下りるまで、だいぶ時間を要しましたが、町の活性化にとっても有益な施設と捉えており、一日も早いオープニングを期待しているところです。

そのいずれの施設においても地区住民との争いごとや問題などは全く起きていないとの説明を受けています。その後、様々な角度から検討を重ねた結果、①安定した就労の場の確保、②地元農産物の販売促進、③固定資産税等の税収の確保など、町の経済活性化の面からも有効な施設であるとの判断に立ち、こ

国（経済産業省）の最終的な置許可も間もなく下りるであろうとの報告を設置予定業者より受けており、また、国道右折レーン設置の用地提供の交渉を現在行つており、今月中には工事が着工されるものと考えています。

設置予定業者から町に対しで
平成十三年一月に場外車券場施
設設置の申し出があつて以来、
町では秋田県や福島県、また、
新潟県内にある同様の施設の視
察、さらにその施設が設置され
ている自治体の首長や地区住民
の方々の聞き取り調査を行つて
きました。

一方 国道との取付け協議を
国道の管理者である山形県と進
めてきましたが、交通渋滞解消
の面から右折レーンを設置する
ことで協議が整い、経費は設置
予定業者が全額負担、工事は設置
予定業者に代わって町が代行

置予定業者と全地権者との間で
土地売買契約が成立。それを受
けて山形県知事に対し、関係法
令に基づく許認可申請を行つて
きました。その結果、今年の六
月に農地転用許可や都市計画法
開発行為許可が正式に下りたと
ころです。

青少年健全育成町民大会

夏休み前の7月16日、第3回町青少年健全育成町民大会が創造館で行われました。

大会では、長井めぐみ幼稚園長の猪股美喜子氏が『子育ち環境、家庭・学校・地域』と題し講演。青少年の健全育成には家庭教育が原点であることを強調しました。最後に、あらゆる場において「あいさつ運動」を積極的に行う大会宣言を満場一致で承認し、青少年の健全育成の推進を誓いました。



講演する猪股美喜子先生

7.10 7.17 豪雨被害総額1億2,000万円



停滞する梅雨前線の発達で、7月10日と7月17日の両日、朝日山系に降った集中豪雨で、当町でも大きな被害が出ました。

10日の降り始めからの雨量は、国土交通省白倉観測所で139ミリ、時間雨量で81ミリを記録し、短時間に猛烈な雨を降らせました。17日の同雨量も103ミリ（24時間雨量は99ミリ）を記録しています。

洪水警戒体制に入った朝日川上流の木川ダムは10日、合わせて約900トンの水を放流。下流域に泥流や流木が押し寄せ、立木の河川公園は激流に飲み込まれました。その際、水路の氾濫などで建物の床下浸



水が2件発生しています。上郷ダムでも17日、警戒水位を超えたため、ダムの水を放流。最上川沿いの一部農地（面積にして2.72ヘクタール）が冠水したほか、道路の崩落などが数カ所で発生しました。

この両日の大雨による被害総額は、町道朝日線（立木地内）の路肩決壊など土木関連災害で9,745万円、林道小清大沼線の道路決壊や水稻の冠水被害など農林関連災害で2,057万円など、締めて1億2,000万円に上りました。

《参考》災害復旧事業として採択される「異常な天然現象」とは、最大24時間雨量が80ミリ以上の降雨。あるいは、80ミリ未満の降雨であっても、時間雨量が20ミリ以上の降雨の場合を指す。



新ALTにジェニファー先生

7月26日、外国語指導助手（ALT）として新しく、ランド・ジェニファー先生が着任しました。

ジェニファー先生は、アメリカのアラスカ州ジュノー出身で現在22歳。モンタナ州のモンタナ大学でスペイン語と人類学を学び、今年5月に同大学を卒業し現在に至っています。人類学に興味があるということで、町内の小中学生に英語を教える仕事の傍ら、日本の文化を詳しく勉強したいとのこと。

「韓国人に英語を教えたことがあります。でも、日本は今回が初めて。今のところ日本語はほとんど話せません。街で見かけた際は気軽に『ジェニー』と声をかけてください」と笑顔で話してくれました。



西村山支部消防操法大会

猛暑の一日となった8月1日、西川町開発センターを会場に、県消防協会西村山支部の消防操法大会が開催されました。ポンプの安全な操作技術と速さを競い合うこの大会。管内1市4町から自動車ポンプの部と小型ポンプの部合わせて10チームが出場。朝日町からは、両方の部に第3分団第1部（大谷方面、阿部安彦部長）が参加しました。

春の演習から数えると約4ヵ月におよぶ早朝練習。時折体に痛みを訴えながらの厳しい練習に耐えこの日を迎えました。本番では、仲間が見守る中、堂々とした操法を披露。それぞれが納得できる内容に、会場からは大きな拍手が贈られました。



ダチヨウの卵藝術 エッグ アート



小学生最後の夏の思い出づくりとして7月24日、大谷小学校六年生とその保護者たち約五十人が、秋葉山交遊館を会場に、ダチヨウの卵に思い思いの絵を描く藝術にチャレンジしました。町の特産品である「ダチヨウ」に目を付け、学年行事として取り組んだ始めての企画です。

事前にスケッチしてきた図柄を、子どもとその保護者たちが協力して描き上げる様子は真剣ながら、約三時間ほどで二十分一個の卵アートが完成。世界でたった一つだけのアートに灯りが入ると、予想以上のできばえに会場は歓声に沸きました。



最初は「森の熊さん」などを輪唱しながら元気いっぱいに歩いていた子どもたちも、ゴールの交遊館にたどり着く頃には心なしか言葉少なに。「さすがに年には勝てない」とひぶやきながらの保護者たちも、子どもたちの背中を確実に捉えながら一歩一歩足を前に踏み出していくました。

ゴールしてふと氣付くと東空は明るみ、辛くとも最後まで成し遂げた、子どもたちの満足げな表情をうつすりと照らしていました。

この日のもう一つの企画は、夜通し歩き通すナイトウォーク。卵アートが終了する頃、既に時計の針は午後11時を過ぎていました。打ち上げ花火と同時に一行は交遊館を出発。県道長井大江線（通称猿田越）を通り大江町に抜け、国道287号線を戻つてくる約十五キロのコースを、四時間半かけて全員が歩き通しました。

夜通しナイトウォーク



(4:00AM頃)





まちの話題



①第22回朝日川渓流まつり



猛暑の日涼を求めて1,200人

朝日川の立木河川公園で8月1日、毎年恒例となった朝日川渓流まつりが賑やかに開催されました。

この日は、最高気温が37度を超す猛暑となり、涼を求める家族連れなど約1,200人が、水着や半ズボン姿で朝日川の清流に身をゆだねていました。

まつりのメインは、やはり、午前と午後1回ずつ放流さ

るニジマスやイワナ、ヤマメなどのつかみ捕り。最初は水に濡れないよう足下に慎重だった参加者たちも、いったん足を踏み外し水をかぶってしまえば、大人と言っても子ども同然。大きな岩の下に手を差し込んで魚に触れる手応えと共に、童心に返っていました。

捕まえた魚は、特設の釜場で塩焼きをして堪能。身の締まったボリュームのある魚を口にしては、朝日川の大自然を心ゆくまで満喫していました。

③不法投棄防止ネット設置

防止ネットの効果に期待

7月15日、上郷地区4区の役員ら12人が集まり「不法投棄防止ネット」の設置作業が行われました。古檜区手前にも同じようなネットが設置されており、その効果が確実に表れているということで、町衛生組合連合会（多田賢司会長）の協力の下に実施されたものです。不法投棄される箇所は、この沿線の約120メートルの区間。その内の約70メートルの区間に青いネットが張られました。



今年は粗大ゴミの投棄があまりなかったとは言え、春にゴミ袋55個分、河川愛護デー時に24個分のゴミを回収したという、杉山区内の国道287号沿線。

作業は全て役員のみなさんのボランティアで行われたもので、次年度は残りの50メートルの区間を実施の予定。「次回に他の区から声がかかった際は、互いに協力し合う体制ができている」と語ってくれたのは、杉山区長の鈴木昭一さん。

②長沼区つり大会

鯉よ来い来い！

今年で11回目を迎える長沼区の釣り大会が7月25日、区民ら約30人が参加し区内の長沼で開催されました。

時折小雨交じりの天候のもと、茅の浮きを付けた昔ながらの竹竿に特製の練り餌やミミズを付けた仕掛けで、思い思いの釣り糸を水面に垂らしました。大会に祭り気分の色を添えたのは、榎原庸光さんが毎年準備しているという「かき氷」のサービス。一点の浮きに集中することで乾いた参加者ののどを潤します。

その結果、竿を折りながらも釣り上げた真鯉（体長70センチ・重さ5.5キログラム）で、阿部為吉さん（常盤）が大物賞を獲得。過去にない記録の大物のことです。

会場は予想以上の大物に興奮状態。より大物を引き上げようと終始盛り上がり上がっていました。



⑤源次兵衛さん活動



暑さに負けず元気に育って！

夏休みを直前に迎えた7月22日、「源次兵衛さん活動（学校におけるボランティア活動の呼称）」の一環として、西五百川小（小林道和校長）5年生による花の苗の植栽作業が行われました。

旧西部公民館跡地の花壇に、「日々草」や「マリーゴールド」など合わせて106本の苗が、18人の子どもたちの手で植栽。その1本1本に優しく水がかけられ作業が終了しました。

折しもこの日は、梅雨明けとなった暑い一日。「この暑さに負けないで元気に育ってね」と語りかけるボランティア作業に、道行く人は目を細めしていました。

⑦町小学校水泳競技記録会

期日／7月8日(木) 会場／町民プール

【※各種目1位のみの掲載】

【5年男子】▽50m自由形／今野駿(宮宿)42秒3▽50m平泳ぎ／堀拓未(大谷)56秒2▽50mバタフライ／白川達郎(西五百川)1分10秒5▽50m背泳ぎ／志藤雅人(大谷)55秒1

【5年女子】▽50m自由形／清野詩織(宮宿)44秒1▽50m平泳ぎ／菅井里香(和合)52秒1▽50mバタフライ／清野美流(宮宿)1分03秒8▽50m背泳ぎ／松尾泰葉(宮宿)55秒8

【6年男子】▽50m自由形／安藤一樹(宮宿)39秒7▽50m平泳ぎ／阿部陽祐(宮宿)43秒0▽50mバタフライ／阿部琢也(西五百川)58秒1▽50m背泳ぎ／佐藤陸(大谷)51秒9▽100m自由形／阿部悠佑(宮宿)1分33秒2▽100m平泳ぎ／堀翔太(大谷)1分49秒3▽100mバタフライ／菊地健太(大谷)1分51秒5▽100m背泳ぎ／堀伸也(大谷)2分04秒0▽200m個人メドレー／鈴木聖也(和合)3分46秒9

【6年女子】▽50m自由形／近藤香澄(宮宿)36秒0▽50m平泳ぎ／五十嵐望(大谷)52秒6▽50mバタフライ／鈴木千穂(大谷)52秒3▽50m背泳ぎ／阿部佑香(宮宿)51秒1▽100m自由形／志藤綾子(大谷)1分21秒1▽100m平泳ぎ／五十嵐夏美(大谷)1分54秒2▽100mバタフライ／古川まどか(西五百川)2分49秒1▽100m背泳ぎ／五十嵐衣里(大谷)1分56秒6▽200m個人メドレー／佐藤澪(宮宿)4分04秒8

【男子共通】▽200mメドレーリレー／宮宿A(安藤一樹・阿部陽祐・今井将真・阿部悠佑)3分03秒5▽200mリレー／宮宿A(今井将真・菅井拓人・阿部悠佑・安藤一樹)2分44秒1

【女子共通】▽200mメドレーリレー／宮宿A(阿部佑香・松田早季・佐藤澪・近藤香澄)3分03秒9▽200mリレー／宮宿A(阿部佑香・佐藤澪・清野理香・近藤香澄)2分34秒7

④今年も来町早稲田大学留学生



朝日町を愛する世界の友人

3回目となる今年。アジアを中心に世界10カ国から20人の留学生が、7月23日から3日間の日程で朝日町を訪れました。

大沼の浮島を訪れた一行は、大沼雅楽や地元の子どもたちによる力強い浮島太鼓の演奏などに耳を傾けた後、縄ない体験や箸作り、竹とんぼ飛ばしなどを楽しみました。若宮寺や春日神社、三中分校を巡り、日本の古式ゆかしき文化をも堪能

ドイツのヴェチッヒ・ユリアさんは「すばらしいふれあいできる『朝日町』と3日間の感想を川柳で表現してくれました。

⑥海の子と山の子の交流



砂浜でサンドアートに挑戦

宮城県七ヶ浜町の汐見小学校と和合小学校の交流会が7月25日、七ヶ浜町を会場に行われました。両校合わせて38人の児童とその保護者らが参加。県の事業として始まった「海の子と山の子の交流」を継続して実施しているもので、今回が実施3年目になります。今回は、山の子が海の子へ会いに行く内容でした。

海水浴日和となったこの日は、近くの海水浴場に繰り出し、班毎にサンドアート（砂の芸術）に挑戦したりするなどの交流の輪を広げました。

来る10月2日は、海の子が山の子に会いに来ることになっており、芋煮などで再度交流を深める予定です。

みんなのひろば



広報紙で振り返る朝日町の50年 其の3 (昭和49年11月~昭和59年10月)

■昭和49年

広報あさひ204号全国一に
町の木「ブナ」町の花「ヒメサユリ」
制定

■昭和50年

降雹被害額6億円対策本部設置(6月)
町民憲章制定(11月)

■昭和51年

最上川農業水利事業導水トンネル工事
現場(古檍工区)でガス爆発事故(5月)
集中豪雨被害額5億円対策本部設置
(8月)

■昭和52年

朝日中学校開校式(4月)
朝日町観光協会設立(5月)

■昭和53年

清水工業団地11社の分譲決まる

■昭和54年

白倉スキーフォートオープン(1月)
第1回産業まつり開催(11月)

■昭和55年

西五百川小学校新校舎落成式(2月)
県青年大会を朝日町で開催(9月)

■昭和56年

宮宿小学校新校舎完成
大谷地区集落排水処理施設完成(10月)

■昭和57年

第1回ワインまつり開催(5月)

■昭和58年

第1回朝日川渓流まつり開催(8月)
五百川橋開通式(10月)

石油危機による物価高騰、インフレ不況で、この時代は幕を開けました。

広報紙では、過疎対策や若者の定住化策、産業の振興策等の記事が多く特集されています。また、教育問題の記事が増えたのもこの頃です。後半では、朝日分校の生徒数の減少による統廃合に関する記事が多く掲載されています。この中でも「若者はなぜ町を去るのか」というタイトルが目に付きました。若者定住化策では企業誘致や生活環境の改善、結婚問題まで、様々な記事が掲載されています。



た若者たちを取り巻く状況の中、第一回山形県青年洋上大学が昭和五十四年一月に開催。翌年の昭和五十五年には、九月六日から三日間の日程で県青年大会が朝日町を会場に行われました。

県青年大会には、県内三十七市町村の青年団員約三千人が集まり、「緑の大地に汗と友情の輪を広げよう!」をテーマに、スポーツ・文化・芸能・意見発表を通じて日々の活動の成果を発表し、競い合い、青年相互の友好親善を深めました。

朝日町大会は、大会史上一番小さな町での開催であり、約千人の町外の青年たちが町内の家庭で民泊し、青年のみならず町民上げての手づくりの大会となり、大成功に終わりました。

それから二十四年経った現在、この大会に携わった青年たちは町の中核となり、それぞれの分野で大活躍しています。正にこの大会は、朝日町の次代を担う人を育てた大会といえるでしょう。

「今」の朝日町を担う「人」を育てた県青年大会

各種大会の成績

(○内数字は順位)

■第26回町ソフトボール大会

(7月11日)

西部地区総合運動場

▽ Aコート①(栄町ソフトクラブ
(代表:佐藤源六)②レッドアワ
ルズ(代表:和田昭俊)③四ノ沢

ソフトボーラー愛好会(代表:石塚

吉男)▽ Bコート①レディース朝

日(代表:鈴木久美子)②シルバー

ソフアーズB(代表:鈴木欣二)

第51回白山神社祭礼奉納

町少年少女剣道選手権大会

(7月17日・大谷小体育館)

※各部門とも1位のみ掲載

▽ 小学一年以下の部/富樺春優

(宮宿剣道)▽ 小学二年の部/阿

部真琴(宮宿剣道)▽ 小学三年の

部/白田真耶(大谷剣道)▽ 小学

四年以下の部/渡辺幸栄(宮宿剣

道)▽ 小学五年の部/白田瑠璃

(大谷剣道)▽ 小学六年の部/今

井将真(宮宿剣道)

▽ 中学一年・二年の部/榎元輝

(大谷剣道)▽ 小学六年の部/今

井将真(宮宿剣道)

▽ 中学三年男子の部/村山仁▽

中学三年女子の部/五十嵐利佳

なお、中学の部は朝日中のみ。

■山形県中学校総合体育大会

(7月23日~25日)

▽ 剣道男子団体/②朝日中(東北

大会)▽ 剣道女子団体/③朝日

中(東北大会)▽ 剣道男子個人

③村山仁(朝日中)▽ 東北大会

▽ 柔道男子個人48kg級/②堀

祐樹(朝日中)▽ 東北大会

▽ C女子二〇〇m個人メドレー③

佐藤澪(宮宿小)▽ C男子一〇〇

m平泳ぎ③阿部陽祐(宮宿小)▽

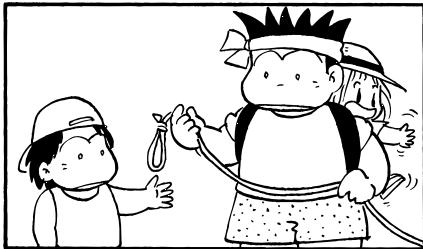
B女子五〇m背泳ぎ①柴田明日香

▽ C女子二〇〇m個人メドレー③

佐藤澪(宮宿小)▽ C男子一〇〇

m平泳ぎ③阿部陽祐(宮宿小)▽

B女子五〇m背泳ぎ①柴田明日香



「今月の新刊（おすすめ本）」
ですが、紙面の関係上、今月もお
休みさせていただきます。

なお、図書館に新刊内容をお知らせする『緑の風』が準備してありますので、こちらをご利用いただければと思います。

ご理解のほどを、よろしくお願ひ申し上げます。

朝日町広報委員会



栄町/
村山友也さん
久美子さん

いつまでも二人で協力しあい、手を取り合って生活していきたい。チャーミーグリーンのCMに出演していたおじいちゃんとおばあちゃんのような夫婦が理想かな」と話してくれた久美子さん。それに対し、「料理や掃除など、お互いに何事でも任せっきりにならないように心がけることが大切なことかな」と話す友也さんの言葉には、常に久美子さんを思いやる気持ちが伝わってくるような感じがします。何気ない普通の生活の中、相手を思いやる自然な行動に感謝し合える、そんな夫婦生活を心に描いているしっかり者のお二人。

2年前の秋に知り合い、夜景の広がる芸工大近くの《創遊の丘》が今の二人のスタート地点。その後は、お互に共通の趣味という「日帰りの温泉」を楽しむ日々が続きます。そんなある日、友也さんから「ご両親にあいさつに行きたいんだけど！」という一言。「えっ！もしかして…それってプロポーズ？」。

あいさつに伺った記念すべき日は、二人一緒の時が創遊の丘でスタートしてから、ちょうど1年後のその日だったそうです。「この日にはちょっとだけこだわりがありました」と笑顔で話す友也さん。

最後に一言。「頼りにしてるね。ともっち！」「くみっち。まかせとけ！」。今年の夏はやけに暑い日が続いているようです。

■第7回町長杯町民ゴルフ大会（7月18日・山形ゴルフ倶楽部）
参加者44人（男42人 女2人）ダブルペリア方式 カット40

順位	氏名(集落名)	アウト	イン	グロス	ハーデ	ネット
優勝	長岡憲夫(常盤)	43	40	83	12.00	71.00
準優勝	白田守司(大谷三)	51	50	101	30.00	71.00
3位	石塚千蔵(四ノ沢)	46	43	89	16.80	72.20
4位	菅井和広(山形市)	43	39	82	9.60	72.40
5位	海野英俊(ハツ沼)	48	40	88	15.60	72.40

※ベストグロス賞 今野正昭(栄町) グロス78 (アウト38 イン40)



11人抜きを演じた 菅井拓人選手

（宮宿小） ▽B 女子五〇 m 平泳ぎ
 ③柴田明日香（宮宿小） ▽C 男子
 五〇 m 平泳ぎ ②阿部陽祐（宮宿小）
第7回山形県ジュニア駅伝
（8月1日・蔵王坊平）

クロスカントリー「コース」

▽男子の部 ⑯朝日町（白田誠・萱井拓人・志藤陽平・阿部陽祐・白石雄一） 48分09秒
 ▽女子の部 ⑯朝日町（佐竹美咲・近藤香澄・児珠葵・安藤華奈・川口愛祐美） 54分08秒

(宮宿小) ▽B 女子五〇 m 平泳ぎ
③ 柴田明日香 (宮宿小) ▽C 男子
五〇 m 平泳ぎ ② 阿部陽祐 (宮宿小)
第7回山形県ジュニア駅伝
(8月1日・蔵王坊平)

みなさんからのおたよりでつくるコーナーです。
町に対する意見や要望、提案みなさん周りでの出来事や話題、日々感じていること、イラスト、質問などお待ちしています。

- あて先／〒990-1442 朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場企画課 協働推進係
(電話：67-2112 フックス：67-2117)
- Eメール／kikaku@town.asahi.yamagata.jp
■ホームページ／http://www.town.asahi.yamagata.jp

町民の声

町の花「ヒメサユリ」が身近に観賞できない各集落毎に普及させていくなど対応策を早急に

町の花が「ヒメサユリ」と言つても、なかなか身近な花として観賞することができない状況にあるかと思います。

この際、各家庭の庭にでも植えてみたらどうでしょう。既に、個人的に栽培している方もいるようですが、各集落毎に普及していく目的で、普及委員会なるものを組織し、その代表者が学んだことをみんなに伝授する。そういうことを模索していくことも必要なではないでしょうか。

咲くまで五、六年もかかるといふ栽培の難しい花。さあ！みんなで取り組んでみようじやありませんか。

【阿部康子さん（常盤）】

貴重なご意見をありがとうございます。

町の花に指定されている「ヒメサユリ」は、和名を「オトメユリ」とい、他のユリと比較して野性味が強く土と場所を選ぶとされています。種を蒔いてから開花まで六年以上かかります。

当研究所では、ヒメサユリ愛好会の協力を得て、約四千球程の球根を育成中です。この球根

を花が咲く位まで大きくし、町民の方々に配布したいと考えていますが、今回のご意見を参考にしながら、普及方法等について今後検討していきたいと思います。

また、能中の一本松公園には毎年、球根の定植を行っています。春のシーズンには可憐な花を咲かせていますので、ぜひ一度ご覧ください。【町農業研究所】

音を募集します。

次 の世代に語り継ぎたい、心に響くわたしの町の音を募集します。来年の元旦号あたりを利用してみなさんに紹介していきたい考えです。

「ふと気付くとそこにある音」「なぜか心が安らぐ音」「ぜひみなさんにも聞いてほしい音」など、十人十色の心に響く音があるはずです。目を閉じて耳を澄ませてみてください。日頃聞き慣れない音が、みんなの耳に飛び込んでくるはずです。

応募締切は今年の十一月末日。なお、応募の際は、広報紙の折り込みはがきをご利用ください。

「祈り」鈴木耐子作品展

NO MORE WAR… 戦争反対…。

世界中の子どもたちに笑顔を取り戻したい…。

西船渡在住の鈴木耐子さんが、タイの難民キャンプでのボランティア活動を通して感じてきた思いを、絵画と写真で表現した作品展が、8月22日まで創遊館ギャラリーで開催中です。

すべての子ども達に笑顔の戻る日がくることを祈つて、あらためて平和について考えてみませんか？

終戦から今年で59回目の夏を迎えます。

時の経過と共に風化させてはいけない記憶。次の世代に伝えていかなければならないこと。8月15日の終戦記念日を前に、ご家族でもう一度話し合ってみる機会を持つてみてはどうでしょう。



幼い妹を両腕に抱く兄

あさひまちの宝箱 vol. 10

若月啓二さんの「最上川渡し場の研究」

若月さんの宝は、最上川渡し場の研究です。

平成6年に発刊した西船渡の歴史書「最上川の瀬音とともに」がきっかけで、西船渡地区の最上川に昔あったとされる「渡し場」を研究し始めたそうです。懐かしい昔の思い出が生でつづられている歴史書のように、昔の記憶をたどり、その史実や思い出を残していきたいとする願いが、実際あったとされる場所や写真から感じることができます。



(高橋 諭)

*あさひまち宝さがし実行委員会では、ひきつづき「まちの宝」を募集しています。広報紙の折り込みはがきを利用しご応募ください。あさひまち宝さがし実行委員会



■7月1日～7月31日届出



すこやかに

区名	出生母氏名	性別	保護者名
小原	熊谷	心	女 忍・歩
大町	滝口	絢斗	男 祐次・恵美子



おしゃわせに

林 喜徳 (大江町)	多田 久美子 (大町)
---------------	----------------



やすらかに

区名	死亡者氏名	世帯主名
四ノ沢	石塚 きぬ	悦 雄
常盤	長岡 よし	昭一良
能中	志藤 あを	三代治
四ノ沢	石塚 まさの	義 光
明鏡荘	菅野 たけゑ	本人
大滝	柴田 五郎兵衛	昭 義
元町	富樫 ふみゑ	清 志
大谷二	白田 安藏	忠 一
西町	五十公野 にづ子	一 二

掲載を希望しない方は、お届けの際にお申し出ください。

人口と世帯数

●平成16年7月31日現在

人口 8,964人(±0)
男 4,443人(増1人)
女 4,521人(減1人)
世帯数 2,571戸(±0)
()内 前月比

お詫びと訂正

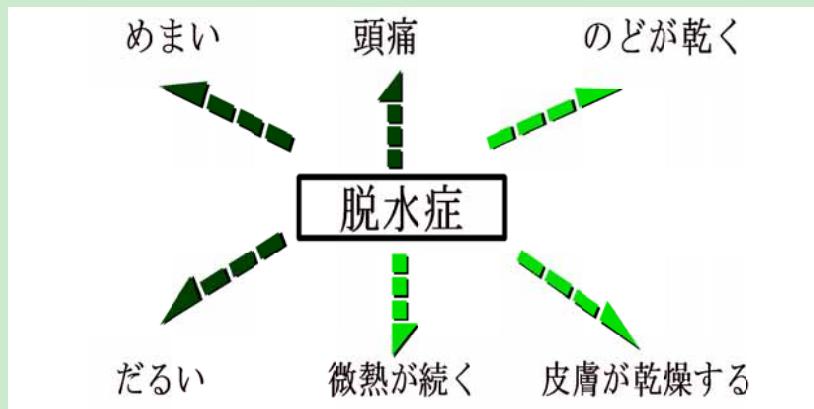
平成16年7月15日発行「広報あさひまち7月号」11頁「③朝日連峰～」の記事に誤りがありました。正しくは、大朝日岳（標高1870m）です。

お詫びして訂正します

きょうの健康 あしたの健康

夏真っ盛りのこの時期、「脱水症」「熱中症」などの言葉が多く聞かれるようになりました。脱水症は、身体の中の水分が減って、血液がドロドロになってしまい、血管が詰まりやすくなります。また、重度になるとショック状態になり、命を奪う恐ろしい病気であるため、注意が必要です。

では、どのような症状があるかと言うと・・・



特に高齢の方々は

- ・からだの中の水分が少なくなっている
- ・口の渇きに気付きにくくなっている
- ・トイレに行く回数が増えるのがいやだという理由から水分を摂らず、脱水症を引き起こすことが多いようです。

では、どうすれば脱水症を予防できるのでしょうか？

- ①三食きちんと食べ、食後・食事の合間に水やお茶を積極的にとりましょう。食事では、約1,000ml程度の水分が摂れると言われています。それ以外に1,000～1,500ml（コップ約6杯分）の水分補給が良いようです。
- ②暑い日の作業、スポーツを行うときには、水筒を持っていき、涼しいところで休みこまめに水分補給しましょう。
- ③外出時は日傘や帽子をかぶりましょう。



まだまだ暑い日が続くようです。みなさん体を大事にし、夏を乗り切りましょう！

広報あさひまち編集モニターを募集します。

募集締切 9月15日（水）

広く市民の方々から意見や感想をいただくことで、より親しみやすく読みやすい広報紙にしていくため、編集モニターを募集します。

対象者は、定期的に広報紙を読むことができる原則として一般社会人とします。募集定員は20人以内。地域や職業、年齢等を考慮し後日、広報委員会の中で選考します。申し込み方法は電話でお願いします。

申し込み・問い合わせ 役場企画課協働推進係 ☎: 67-2112

朝日町の原風景 写真コンテスト作品 vol.16

佳作 祭りの子ども



この写真は、大谷の風神祭の時に撮った写真です。写真のお二人は姉妹で、写真を送ったところ「記念になって良かった」とお礼状をいただいたことを思い出します。この祭りは、地域に根ざしていて伝統を受け継ぎ「あらだの祭りだ！」という雰囲気がたいへん良いと思います。

この他にも朝日町には、自然と共生しながら生きる知恵と伝統を受け継いでいる行事や祭りが多く残っていて愛着を感じており、町内様々なところに訪れて写真を撮っています。 撮影者 石井廉二さん（山形市）

春 夏 秋 冬 編集後記

先日、地元のラジオ放送局から電話がありました。その内容は、広報あさひまち先月号の特集「エクササイズ・ウォーキングのすすめ」を読んで、「町を挙げて取り組んでいるウォーキングの効果と朝日町の身近な里山のすばらしさを、公共の電波を利用し県内のみなさんにお知らせしてみては！」というものでした。町の広報委員会委員長でもあり、体育指導委員会副委員長でもある志藤さん（能中）に協力を依頼。志藤さんの声が、能中

の里山「楓平」からラジオカーを通してライブ中継されました。みなさん、聞いてくださいましたか。町を挙げて取り組んでいるウォーキングです。最初から無理をせず、日常生活の中でも可能な限り歩く機会を持つてみましょう。県民公認となつた朝日町ウォーカー。さあ一胸を張って堂々と歩きましょう。

一步二歩
流れる雲を 追いかけて：
(はやけん)

